

# 平成28年度北海道の教育に関するPTAアンケート調査結果

## 1 調査の概要

### (1) 調査の目的

教育の諸課題に関する児童・生徒の保護者の意見や要望を把握し、「北海道教育推進計画（改訂版）」の推進管理や教育施策の改善に活用する。

### (2) 調査項目

おおむね次の項目のとおり

- (1) 学校の学力向上の取組への評価
- (2) いじめ問題への取組への評価
- (3) 学校及び教員の資質・能力や姿勢への評価
- (4) 学校と地域の連携の状況に対する評価

### (3) 調査の方法等

ア 調査対象 道内（札幌市を除く。）公立小中学校単位PTA

（PTA会長等保護者の代表）

イ 調査件数 1,365校（小学校・義務教育学校前期課程（以下「小学校」という。）861校、中学校・義務教育学校後期課程（以下「中学校」という。）504校）

ウ 調査方法 北海道電子自治体共同システムの「簡易申請機能」並びに電子メール又はファクシミリで回収

エ 調査期間 平成29年1月から2月

### (4) 調査回収状況

有効回収数842件 61.7%（小学校552件、中学校290件）

	回答校数	全校数	回収率
小学校	552校	861校	64.1%
中学校	290校	504校	57.5%
計	842校	1365校	61.7%

## 2 調査結果

次頁以降に記載のとおり

### (1) 構成

各項目ごと、小学校、中学校ごとの全体の傾向及び前回調査結果との比較を掲載。自由記述欄の主な意見・提案に対する道教委の考え方を掲載。

### (2) 留意事項

本調査は、各単位PTAの会長等保護者の代表1名ずつから回答いただいたものであることから、必ずしも、当該学校、当該地域の総意とはなっていない場合があること。

(問1) あなたの学校は、読み書き計算をはじめとする基礎学力を身に付けさせていると思いますか

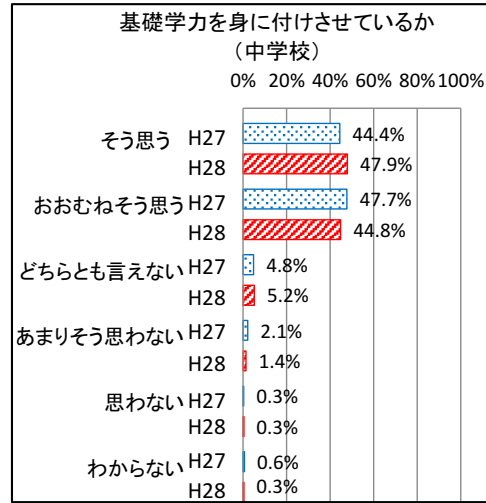
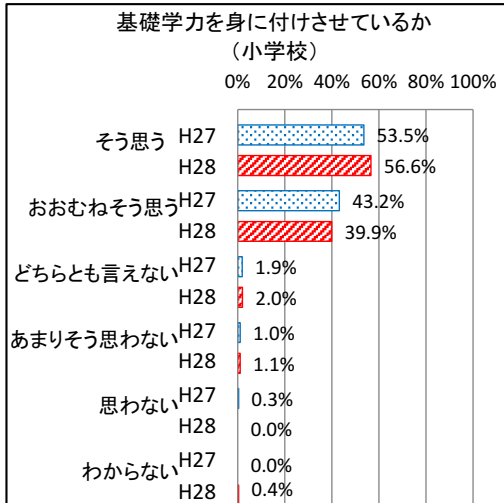
【傾向】

「あなたの学校は、読み書き計算をはじめとする基礎学力を身に付けさせていると思いますか」という質問については、小学校では「そう思う」(56.6%)が、中学校では「そう思う」(47.9%)が最も多い。「そう思う」「おおむねそう思う」を合わせると、小学校、中学校とも9割を超える。また、「そう思う」では、小学校が中学校より8.7ポイント多くなっている。

<平成27年度アンケート結果との比較>

小学校、中学校とも「そう思う」「おおむねそう思う」の合計はほぼ横ばいであるが、「そう思う」が小学校では3.1ポイント、中学校では3.5ポイント増加している。

【アンケート結果】



(問2) あなたの学校は、全ての子どもたちに基礎学力を身に付けさせるため、放課後や夏休み・冬休み期間に補充指導を十分行っていると思いますか

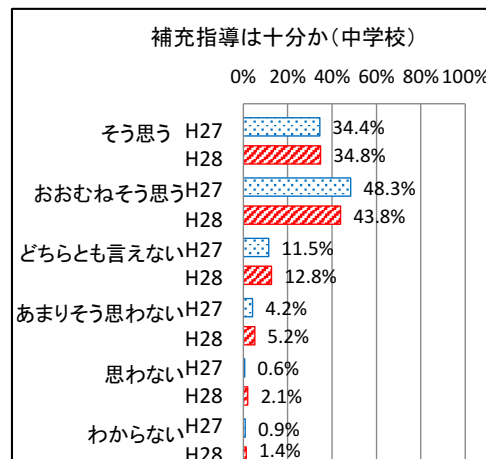
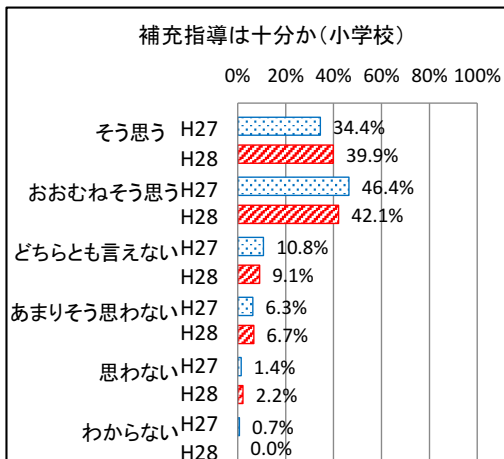
【傾向】

「あなたの学校は、全ての子どもたちに基礎学力を身に付けさせるため、放課後や夏休み・冬休み期間に補充指導を十分行っていると思いますか」という質問については、小学校、中学校とも「おおむねそう思う」(小学校42.1%、中学校43.8%)が最も多い。「そう思う」「おおむねそう思う」を合わせると、小学校、中学校とも約8割となっている。

<平成27年度アンケート結果との比較>

小学校では「そう思う」「おおむねそう思う」の合計が1.2ポイント増加している。その反面、小学校、中学校とも「思わない」「あまりそう思わない」の合計が増加(小学校1.2ポイント、中学校2.5ポイント)している。

【アンケート結果】



**(問3) あなたの学校は、平日や週末に、宿題を出したり、宿題の点検をしたりする取組を、学校全体で行っていると思いますか**

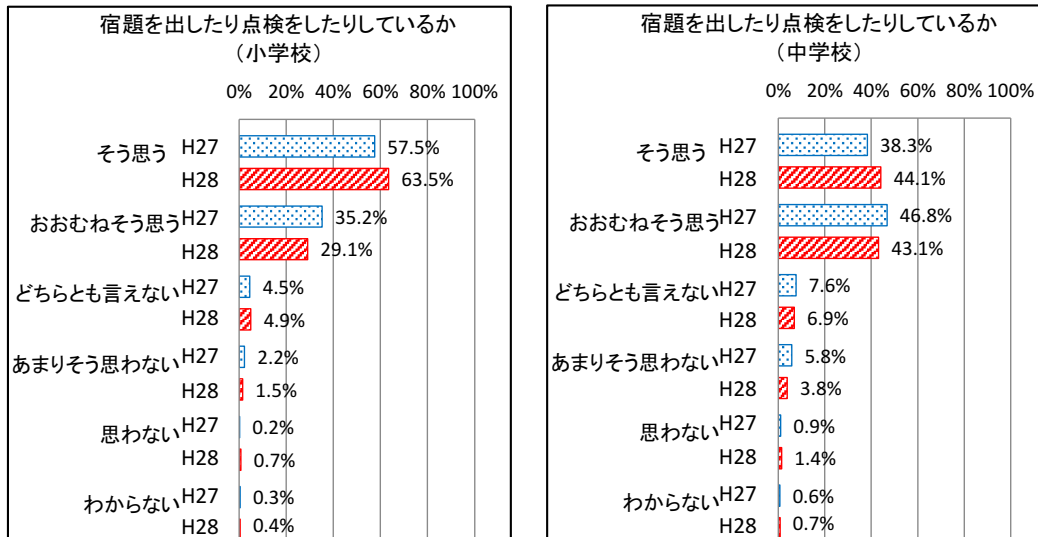
**【傾向】**

「あなたの学校は、平日や週末に、宿題を出したり、宿題の点検をしたりする取組を、学校全体で行っていると思いますか」という質問については、小学校、中学校とも「そう思う」（小学校63.5%、中学校44.1%）が最も多い。「そう思う」「おおむねそう思う」を合わせると、小学校では92.6%、中学校では87.2%となる。また、「そう思う」では、小学校が中学校より19.4ポイント多くなっている。

＜平成27年度アンケート結果との比較＞

小学校、中学校とも「そう思う」が増加（小学校6.0ポイント、中学校5.8ポイント）している。

**【アンケート結果】**



**(問4) 学力向上のため、学校に取り組んでほしいことを、選んでください。【複数回答可】**

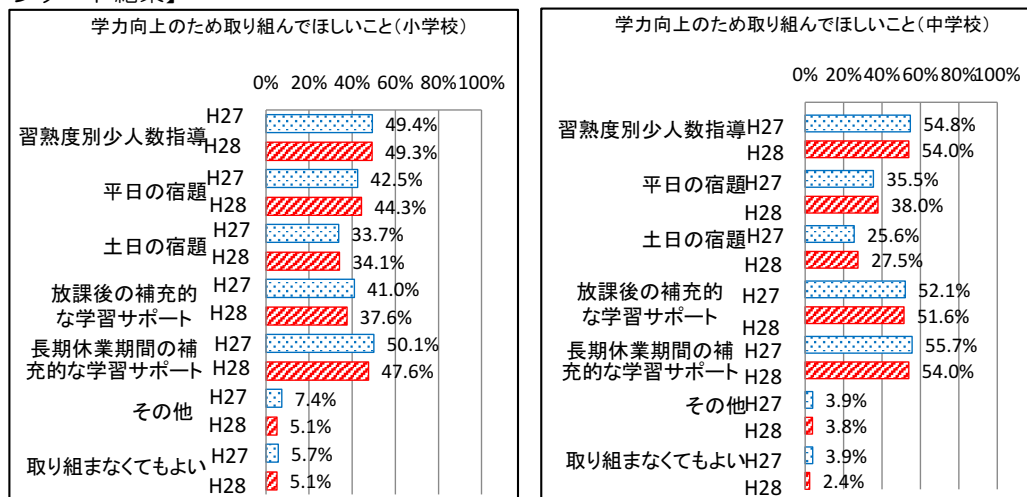
**【傾向】**

学力向上のため、学校に取り組んでほしいことについては、小学校では、「習熟度別少人数指導」が49.3%と最も多く、以下、「長期休業期間の補充的な学習サポート」（47.6%）、「平日の宿題」（44.3%）、「放課後の補充的な学習サポート」（37.6%）、「土日の宿題」（34.1%）となっている。中学校では、「習熟度別少人数指導」、「長期休業期間の補充的な学習サポート」が54.0%と最も多く、以下、「放課後の補充的な学習サポート」（51.6%）、「平日の宿題」（38.0%）、「土日の宿題」（27.5%）となっている。

＜平成27年度アンケート結果との比較＞

小学校、中学校とも「平日の宿題」が最も増加（小学校1.8ポイント、中学校2.5ポイント）している。また、小学校、中学校とも「取り組まなくてもよい」が減少している。

**【アンケート結果】**



**(問5) あなたの学校では、学校全体として、学習規律・生活規律がしっかりと指導されていると思いますか**

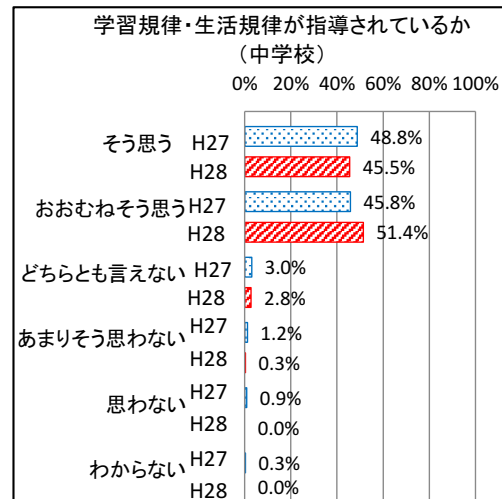
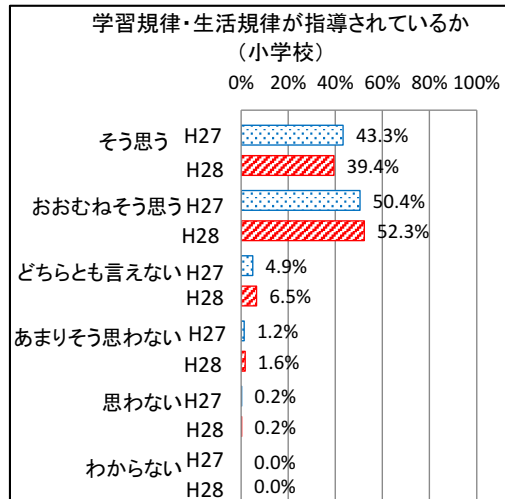
**【傾向】**

「あなたの学校では、学校全体として、学習規律・生活規律がしっかりと指導されていると思いますか」という質問については、小学校、中学校とも「おおむねそう思う」（小学校52.3%、中学校51.4%）が最も多い。「そう思う」「おおむねそう思う」を合わせると、小学校、中学校とも9割を超える。

<平成27年度アンケート結果との比較>

小学校では、「あまりそう思わない」「思わない」の合計が0.4ポイント増加しているが、中学校では1.8ポイント減少している。

**【アンケート結果】**



**(問6) あなたの学校は、全国学力・学習状況調査の結果を、保護者にわかりやすく説明していると思いますか**

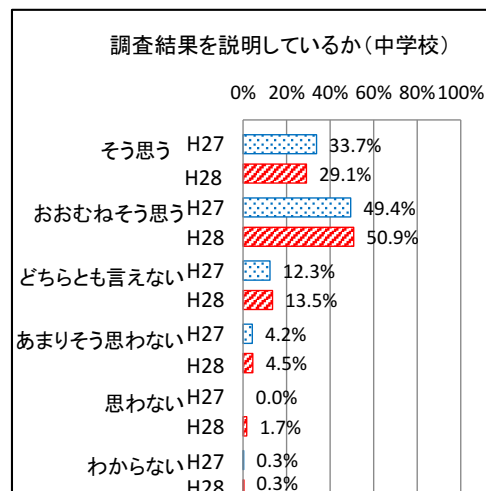
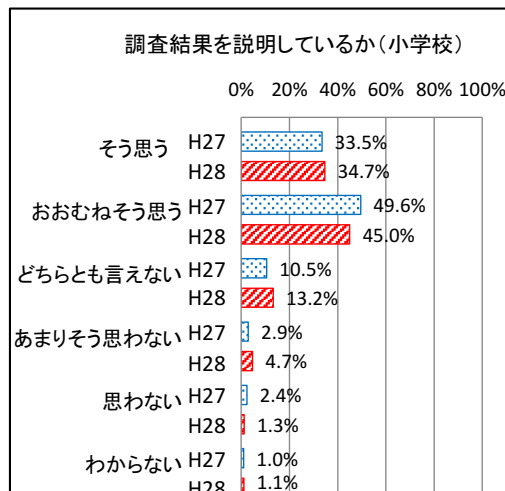
**【傾向】**

「あなたの学校は、全国学力・学習状況調査の結果を、保護者にわかりやすく説明していると思いますか」という質問については、小学校、中学校とも「おおむねそう思う」（小学校45.0%、中学校50.9%）が最も多い。「そう思う」「おおむねそう思う」を合わせると、小学校、中学校とも約8割となっている。

<平成27年度アンケート結果との比較>

小学校、中学校とも「そう思う」「おおむねそう思う」の合計が減少（小学校3.4ポイント、中学校3.1ポイント）し、「あまりそう思わない」「思わない」の合計が増加（小学校0.7ポイント、中学校2.0ポイント）している。

**【アンケート結果】**



(問7) あなたの学校は、児童生徒の悩みや問題に適切に対応していると思いますか

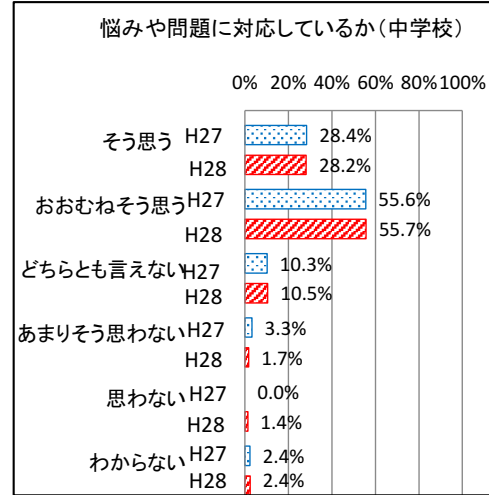
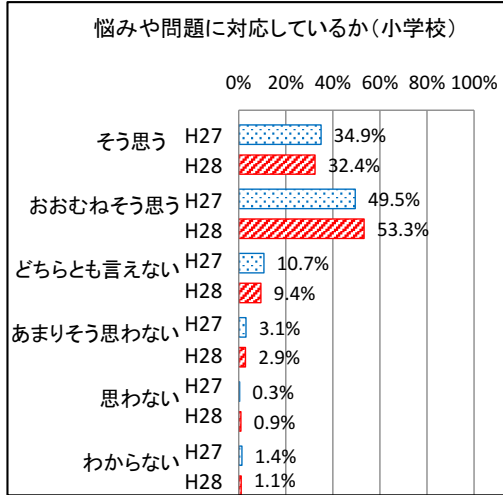
【傾向】

「あなたの学校は、児童生徒の悩みや問題に適切に対応していると思いますか」という質問については、小学校、中学校とも「おおむねそう思う」（小学校53.3%、中学校55.7%）が最も多い。「そう思う」「おおむねそう思う」を合わせると、小学校では85.7%、中学校では83.9%となっている。

<平成27年度アンケート結果との比較>

小学校では「そう思う」「おおむねそう思う」の合計が1.3ポイント増加し、「思わない」「あまりそう思わない」の合計が0.4ポイント減少している。中学校では、「そう思う」「おおむねそう思う」の合計、「思わない」「あまりそう思わない」の合計とも、ほぼ横ばいとなっている。

【アンケート結果】



(問8) あなたの学校は、いじめが発生した場合の対応方針などを保護者にわかりやすく説明していると思いますか

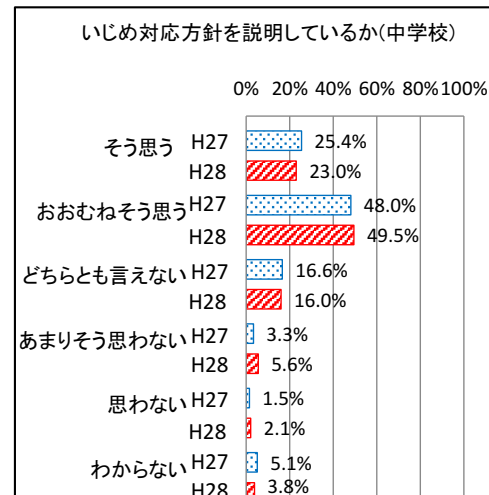
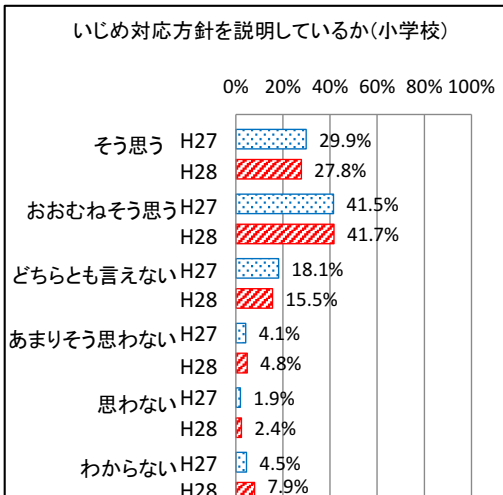
【傾向】

「あなたの学校は、いじめが発生した場合の対応方針などを保護者にわかりやすく説明していると思いますか」という質問については、小学校、中学校とも「おおむねそう思う」（小学校41.7%、中学校49.5%）が最も多い。「そう思う」「おおむねそう思う」を合わせると、小学校、中学校ともに約7割となっている。

<平成27年度アンケート結果との比較>

小学校、中学校とも「あまりそう思わない」「思わない」が微増（小学校1.2ポイント、中学校2.9ポイント）している。

【アンケート結果】



**(問9) あなたの学校は、いじめ問題について、HPや学校通信等により、保護者にわかりやすく説明していると思いますか**

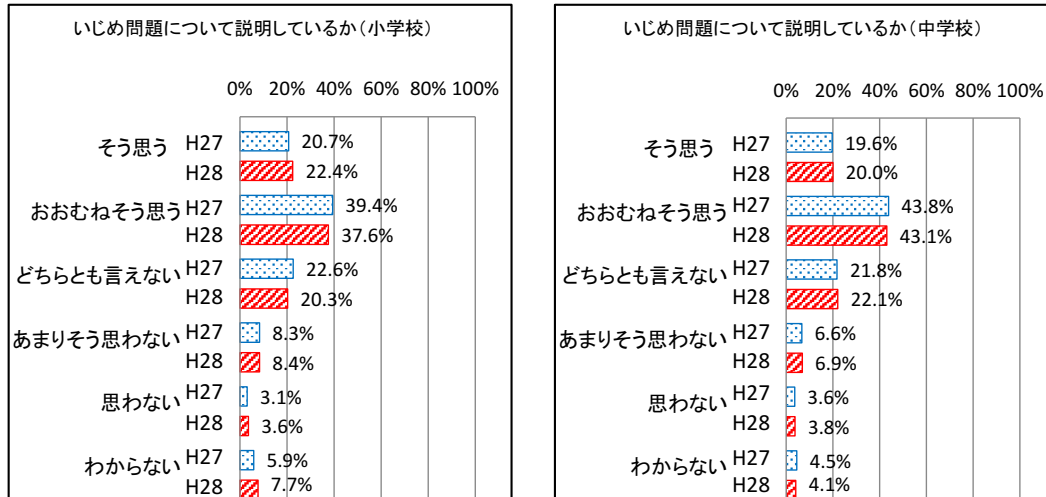
**【傾向】**

「あなたの学校は、いじめ問題について、HPや学校通信等により、保護者にわかりやすく説明していると思いますか」という質問については、小学校、中学校とも「おおむねそう思う」（小学校37.6%、中学校43.1%）が最も多い。「そう思う」「おおむねそう思う」を合わせると、小学校、中学校とも約6割。他の項目に比して、「どちらとも言えない」や「わからない」の割合が高い。「思わない」「あまりそう思わない」の合計は、小学校で12.0%、中学校では10.7%となっている。

<平成27年度アンケート結果との比較>

小学校、中学校とも「そう思う」「おおむねそう思う」の合計、「思わない」「あまりそう思わない」の合計を見るとほぼ横ばいとなっている。

**【アンケート結果】**



**(問10) あなたの学校は、子供が使う携帯電話のフィルタリングを設定するよう、保護者に説明したり資料を配付したりしていますか**

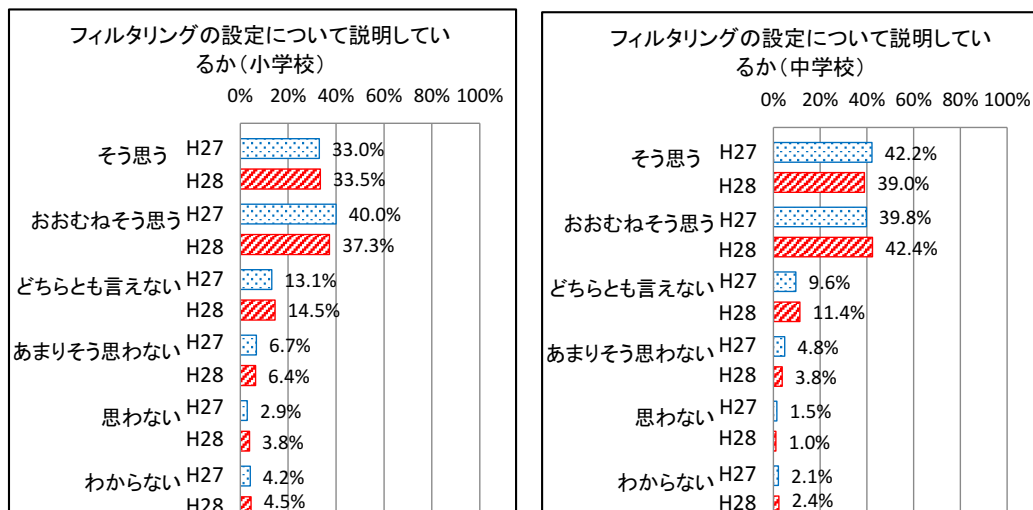
**【傾向】**

「あなたの学校は、子供が使う携帯電話のフィルタリングを設定するよう、保護者に説明したり資料を配付したりしていますか」という質問については、小学校、中学校とも「おおむねそう思う」（小学校37.3%、中学校42.4%）が最も多く、「そう思う」「おおむねそう思う」を合わせると、小学校で70.8%、中学校で81.4%となっている。

<平成27年度アンケート結果との比較>

小学校、中学校とも、「そう思う」「おおむねそう思う」の合計が減少（小学校2.2ポイント、中学校0.6ポイント）し、「どちらとも言えない」が増加（小学校1.4ポイント、中学校1.8ポイント）している。

**【アンケート結果】**



(問11) あなたの学校は、地域の人材や教材を生かした教育活動を積極的に行っていると思いますか

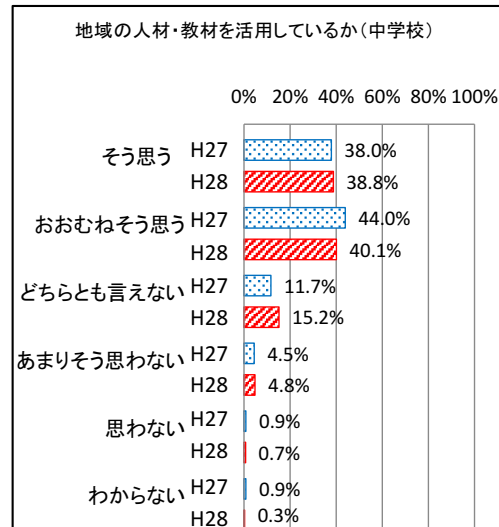
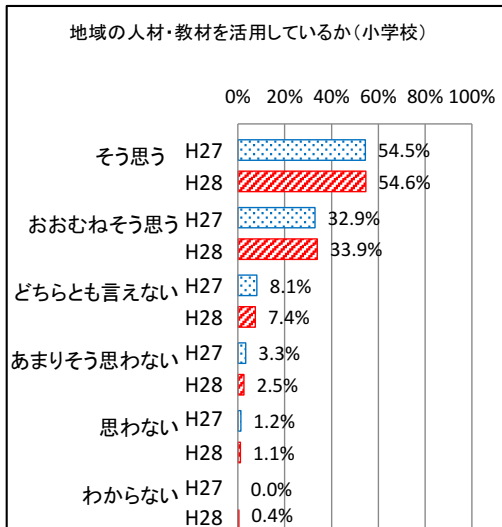
【傾向】

「あなたの学校は、地域の人材や教材を生かした教育活動を積極的に行っていると思いますか」という質問については、小学校では「そう思う」(54.6%)が、中学校では「おおむねそう思う」(40.1%)が最も多い。「そう思う」「おおむねそう思う」を合わせると、小学校では88.5%、中学校では78.9%となる。「そう思う」の割合は、小学校が中学校より15.8ポイント多い。

<平成27年度アンケート結果との比較>

中学校では、「そう思う」「おおむねそう思う」の合計が3.1ポイント減少し、「どちらとも言えない」が3.5ポイント増加している。

【アンケート結果】



(問12) あなたの学校では、保護者の意見等を参考に学校評価を行い、積極的に学校改善を進めていると思いますか

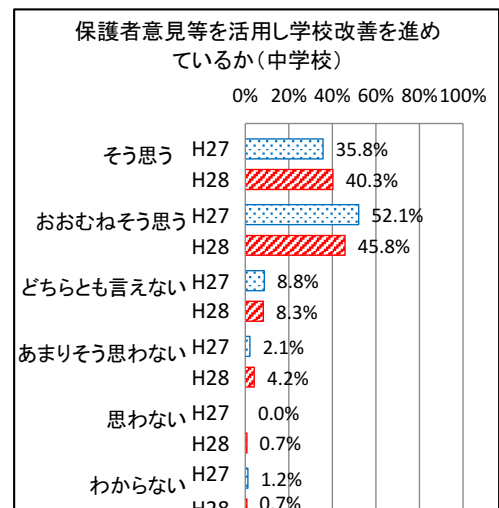
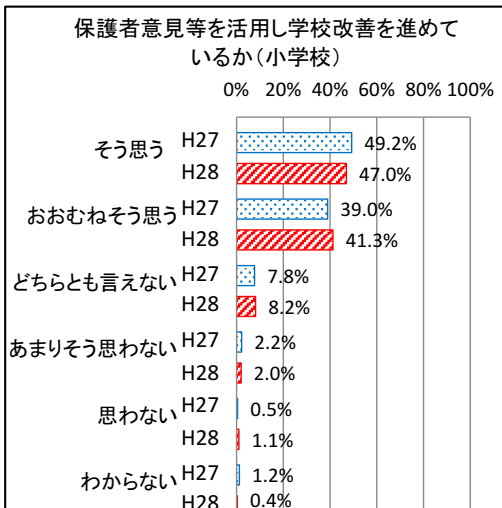
【傾向】

「あなたの学校では、保護者の意見等を参考に学校評価を行い、積極的に学校改善を進めていると思いますか」という質問については、小学校では「そう思う」(47.0%)、中学校では「おおむねそう思う」(45.8%)が最も多い。「そう思う」「おおむねそう思う」を合わせると、小学校、中学校とも8割を超える。

<平成27年度アンケート結果との比較>

中学校では、「そう思う」「おおむねそう思う」の合計が1.8ポイント減少し、「思わない」「あまりそう思わない」の合計が2.8ポイント増加している。

【アンケート結果】



**(問13) あなたの学校では、HPや学校通信等により日常の学校運営の状況が、わかりやすく保護者や地域へ提供されていると思いますか**

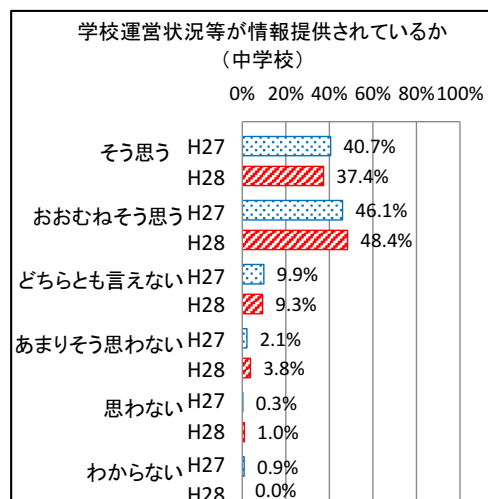
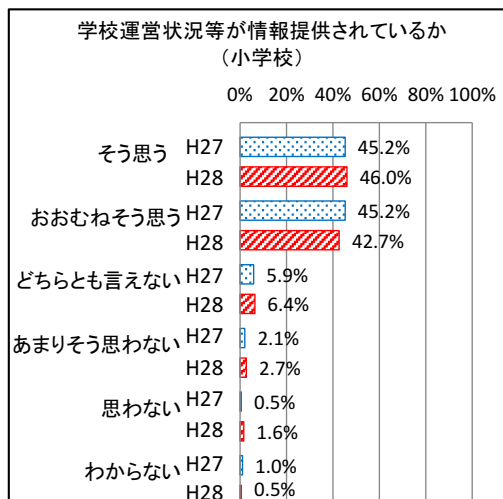
**【傾向】**

「あなたの学校では、HPや学校通信等により日常の学校運営の状況が、わかりやすく保護者や地域へ提供されていると思いますか」という質問については、小学校では「そう思う」（46.0%）、中学校では「おおむねそう思う」（48.4%）が最も多い。「そう思う」「おおむねそう思う」を合わせると、小学校、中学校とも8割を超える。

<平成27年度アンケート結果との比較>

小学校、中学校とも「思わない」「あまりそう思わない」の合計が増加（小学校1.7ポイント、中学校2.4ポイント）している。

**【アンケート結果】**



**(問14) あなたの学校は、地域活動に積極的に参加し、地域社会との連携を深めようとしていますか**

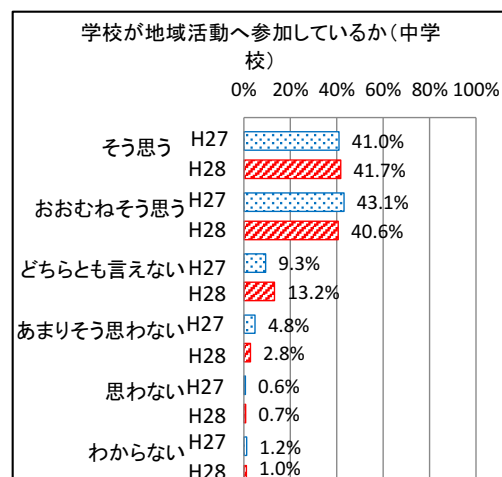
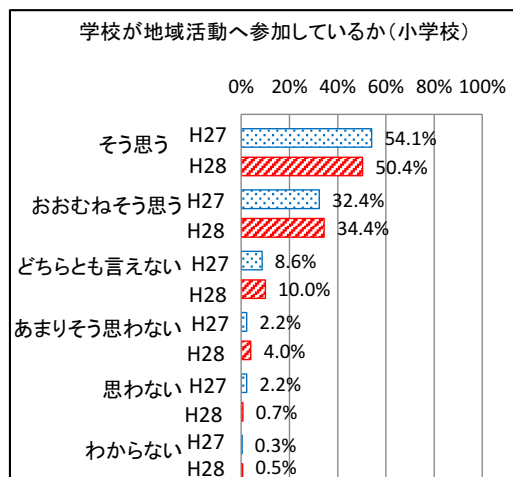
**【傾向】**

「あなたの学校は、地域活動に積極的に参加し、地域社会との連携を深めようとしていますか」という質問については、小学校、中学校とも「そう思う」（小学校50.4%、中学校41.7%）が最も多い。「そう思う」「おおむねそう思う」を合わせると、小学校、中学校とも8割を超える。

<平成27年度アンケート結果との比較>

小学校、中学校とも「そう思う」「おおむねそう思う」の合計が減少（小学校1.7ポイント、中学校1.8ポイント）し、「どちらとも言えない」が増加（小学校1.4ポイント、中学校3.9ポイント）している。

**【アンケート結果】**





**(問15) あなたの学校では、保護者や地域の方々が、学校運営に積極的に参加したり協力していると思いますか**

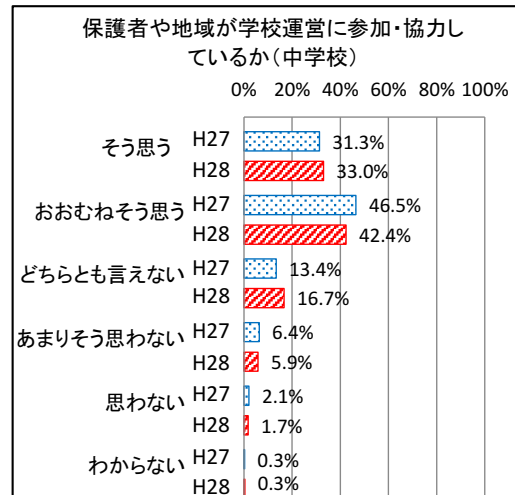
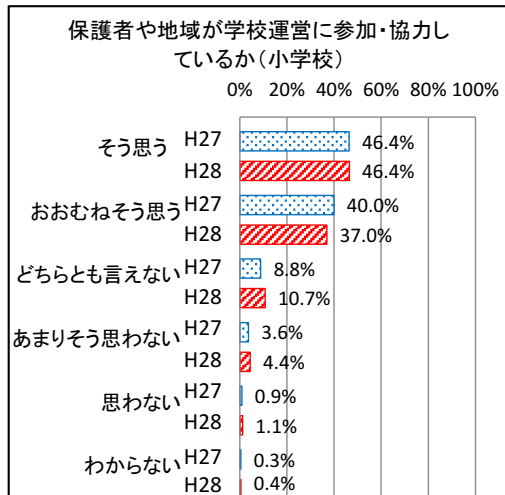
**【傾向】**

「あなたの学校では、保護者や地域の方々が、学校運営に積極的に参加したり協力したりしていると思いますか」という質問については、小学校では「そう思う」（46.4%）が、中学校では「おおむねそう思う」（42.4%）が最も多い。「そう思う」「おおむねそう思う」を合わせると、小学校が83.4%、中学校が75.4%。また、「そう思う」では、小学校が中学校より13.4ポイント大きくなっている。

＜平成27年度アンケート結果との比較＞

小学校、中学校とも「そう思う」「おおむねそう思う」の合計が減少（小学校3.0ポイント、中学校2.4ポイント）し、「どちらとも言えない」が増加（小学校1.9ポイント、中学校3.3ポイント）している。

**【アンケート結果】**



自由記述欄～学校や教育委員会へのご意見・ご要望があれば記入願います。

自由記述件数

学校や教育委員会の取組などに対し、189名の方からご意見・ご提案をいただきました。

なお、いただいたご意見・ご提案の主なものについての道教委の考え方は次のとおりです。

区分	主な意見内容	お答え
◇学力向上に係る取組について		お答え
	<p>1日の授業時間を増やすのではなく、土曜日午前中の授業を実施してほしい。</p>	<p>土曜授業については、公立学校を設置する教育委員会が必要と認める場合に、各教育委員会の判断により実施しているところですが、道教委では、これまで実践校におけるモデルカリキュラムの開発などに取り組んできたところですが、今後は、実践校における取組の成果を普及するとともに、土曜授業を実践する学校の多様な事例を収集し、市町村教育委員会や学校に情報提供するなどの取組を進め、土曜日における豊かな教育環境の一層の充実に取り組んでまいります。</p>
	<p>家庭学習(宿題等)を充実させ、学習習慣を身に付けることが重要と考えている。</p>	<p>道教委では、家庭学習の習慣化を図るため、本年3月「北海道の子どもたちの健やかな成長を願って～家庭学習の習慣化を図りましょう」(改訂版)及び「時間の目安を決めて子どもの生活リズムを整える」(改訂版)を作成し、家庭での取組の参考として北海道教育委員会ホームページに掲載しています。また、平成29年度からは、「子どもの学力・生活習慣改善研修会」を実施し、学校・家庭・地域・行政が子どもたちの学力・体力や生活習慣に関する課題や改善の方策を共有し、地域が一体となって子どもたちを支えていく取組を推進してまいります。</p>
	<p>定数加配等により、習熟度別少人数指導を積極的に行ってほしい。</p> <p>余裕のある教育環境のために、教員の人数をもう少し増やしてほしい。</p>	<p>小・中学校では、少人数指導やティームティーチングなどの指導方法の工夫改善や、いじめ、不登校など特別な配慮が必要な児童生徒への対応、発達障がい等のある児童生徒に対する特別の指導の場での障がいに応じた専門的な指導の実施などのため定数加配を行っています。さらに、法で定められております小学校第1学年に加え、国の加配を活用し、小学校第2学年、中学校第1学年でも少人数学級を実施しているほか、小学校の外国語活動や体育等の授業における専科指導の実施や、中学校における免許外教科担任の解消などに取り組んでいます。このように道教委では、教職員の加配により、児童生徒の実態に応じたきめ細かな指導が行えるよう努めているところです。学校において教員が子どもたち一人一人にしっかりと向き合い、きめ細かで質の高い教育を実現するためには、教職員定数の一層の改善充実が重要であると考えており、国に対して教職員定数の改善が行われるよう引き続き要望してまいります。</p>

区分	主な意見内容	お答え
◇いじめへの対応について	<p>いじめ(無視、仲間はずれ等)が大きくなる前に、学校と家庭との連携を深めることが必要。</p> <p>いじめが発生した場合の対応の仕方を教えていただきたい。</p>	<p>「北海道いじめの防止等に関する条例」では、学校は、児童生徒がいじめを受けていると思われるときは、在籍する児童生徒の保護者、地域住民その他の関係者と連携を図りつつ、当該児童生徒を徹底して守り通し、いじめの早期解消のため適切かつ迅速に対応することとなり、いじめの早期対応に当たっては、保護者等と連携した取組が重要です。</p> <p>また、実際に学校でいじめが発生した場合、学校は、いじめを受けた児童生徒の保護者に対する情報の提供及び支援、いじめを行った児童生徒の保護者に対する助言を行うほか、在籍する他の児童生徒の保護者とも連携し、適切な方法により、いじめの早期解消に努めているところです。</p>
◇教職員について	<p>若い教員は未だに学生感覚であり、年配教員は保守的な考えばかり。教員の資質向上を図ってほしい。</p> <p>先生達は遅くまで残業をしており、子供と向き合える時間が必要と感じます。</p> <p>校長と教頭を同時に異動させる人事は行わないで頂きたい。</p> <p>校長、教頭の交代サイクルが短すぎる(2年勤務で異動)のではないだろうか。</p>	<p>教職員は自立的に学ぶ姿勢を持ち、教育委員会が行う計画研修や、校内研修、個人研修など、あらゆる機会をとり、資質能力の向上を図ることが必要と考えており、道教委では、研修内容の充実や改善に努め、幅広い社会的視野に立った豊かな教養と実践力の向上に努めてまいります。</p> <p>また、道教委では、教員の資質向上に向け、教育公務員特例法の改正なども見据え、昨年6月に、大学関係者や市町村教育委員会、PTAの代表者等で構成する協議会を設置して、教員がそれぞれのキャリアステージに応じて身に付けるべき資質能力の目安となる教員育成指標のあり方や、その前提となる求められる教員像などについて、検討を行っているところです。</p> <p>これからの子どもたちには、将来の予測が困難な時代を生き抜いていくために必要な力が求められていることから、子どもたちに直接指導を行う教職員の役割もますます重要となっており、これまで以上に教員が子どもと向き合う時間を確保することが必要です。</p> <p>道教委では、平成21年度に策定した「教育職員の時間外勤務等の縮減に向けた取組方策」に基づき、「定時退勤日」や「時間外勤務等縮減強調週間」の実施、「部活動休養日」の設定など、様々な取組を進めています。</p> <p>今後も、教育現場の負担軽減に向けた取組を市町村教育委員会と連携し取り組んでまいります。</p> <p>公立小中学校の管理職の異動にあたっては、適材適所を基本として、市町村教育委員会の意見を伺いながら、学校の状況や在任期間を勘案の上、行っているところです。</p> <p>学校が地域の付託に応え特色ある教育活動を展開するためには、校長及び教頭が一定期間在任し、それぞれの地域、学校の実情・課題を的確に把握し、保護者、地域住民から強い信頼と協力を得ながらリーダーシップを発揮し、学校運営を進めていくことが大切であると考えております。</p> <p>今後とも、市町村教育委員会とも連携しながら適切な管理職人事の推進に努めてまいります。</p>

区分	主な意見内容	お答え
◇外国語教育について	<p>早い段階で英語教育を取り入れるよう検討すべき。</p> <p>コミュニケーションがとれる英語教育に取り組んでほしい。</p>	<p>現在の小学校第5・6学年は、平成23年度から、全ての学校で外国語の音声や基本的な表現の慣れ親しみなどを行う外国語活動に年間35単位時間取り組んでいます。</p> <p>平成32年度から実施される次期学習指導要領においては、小学校第5・6学年では教科として年間70単位時間、また、小学校第3・4学年では新たに外国語活動が導入され、年間35単位時間授業を行う予定であり、道教委では、今後、小学校教員の英語力、指導力の向上に向けた教員研修等に取り組んでまいります。</p> <p>また、道教委では、小学生と中学生を対象として、異なる言語や文化に対する理解と関心を深め、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育成するために、イングリッシュキャンプを実施しています。</p>
◇運動部活動について	<p>生徒数(教員)の減少にともない部活動の中止や他校との連携が実施されているところですが、部活動も学校教育のひとつなので、子供たちにとって良い方向になるよう検討してほしい。</p>	<p>学校の部活動は、少子化に伴う生徒数の減少により種目によってはチーム編成ができない状況が見られるほか、学校の小規模化に伴う教職員の減少による練習・引率等の負担の増加や、指導者の不足などの課題も生じています。</p> <p>道教委では、道内の部活動指導の実践をまとめた「効率的な部活動指導の推進(改訂版)～部活動指導の実践事例集～」や、運動部活動指導の充実策をまとめた「効率的な部活動指導の実践～市町村教育委員会による運動部活動の支援の取組～」を作成し、市町村教育委員会、学校に情報提供を行い、部活動指導の充実に向け取り組んでいます。</p> <p>なお、これらの資料は北海道教育委員会ホームページに掲載しています。</p>
◇特別支援教育について	<p>通常学級における合理的配慮の具体的導入のために、全教師の特別支援教育に対する知識や認識の向上を早急に図っていただきたい。</p>	<p>公立学校における合理的配慮については、障がいのある児童生徒が、その年齢や能力、特性を踏まえた十分な教育を受けられるよう、本人や保護者の意向はもとより一人一人の障がいの状態や教育的ニーズ等に応じ、発達の段階を考慮しつつ、合意形成を図ることが重要であり、社会的障壁の除去のための手段や方法について、学校と本人・保護者双方の建設的な対話による相互理解を通じて、必要かつ合理的な範囲で柔軟に対応する必要があると考えています。</p> <p>道教委では、昨年4月の障害者差別解消法の施行に合わせ、道立学校に対して「障がいのある方への職員対応要領」や「合理的配慮事例集」を配付するとともに、職場研修を実施するよう通知したほか、市町村教育委員会にも情報提供を行い、周知に努めてきたところです。</p> <p>こうした中、各学校においては、掲示物の配置や車いす用の備品の使用など教室環境の整備や、映像教材への字幕挿入など教材教具の工夫、指導の場面における言葉かけの工夫など、児童生徒の障がいの状況に応じた合理的配慮に努めているところですが、支援を必要とする児童生徒の「個別の教育支援計画」が作成されていないなど、必要な合理的配慮の内容が十分に把握できていないケースも見られることから、道教委としては、各学校において、個別の教育支援計画の作成などを通じて、本人・保護者との十分な合意形成に基づき、障がいの状況に応じた合理的配慮が行われるよう、引き続き取り組んでいく考えです。</p>

区分	主な意見内容	お答え
◇PTA活動について	<p>PTAと地域を結び、地域で子育てがなされるような取り組みを積極的に進めてほしい。</p>	<p>PTAにおいては、例えば、登下校時の安全指導や地域防災訓練への参画、通学路の清掃や花壇の整備など、学校と家庭、地域をつなぐ様々な活動を行っているものと承知しています。</p> <p>道教委では、PTA等と連携し、子どもの生活習慣の改善を目指した「早寝早起き朝ごはん」運動の展開をしており、「望ましい生活習慣」の定着に向けて、学校・家庭・地域・行政が一体となった取組の推進や規則正しい生活習慣を身に付ける「生活リズムチェックシート」の活用促進に取り組んでいます。</p> <p>また、道教委と小・中学校、高等学校のPTA連合会等で構成する、「北海道子どもの生活習慣づくり実行委員会」において、体験活動や読書に親しむことを目的としたノーゲームデーの設定や、ネット利用も含めた「望ましい生活習慣」の確立を目指すフォーラムの実施などの「どさんこアウトメディアプロジェクト」を推進しています。</p> <p>今後とも、PTA等の関係団体と連携し、子どもたちの健全育成に向けた各種取組を推進してまいります。</p>

(参考)平成28年度北海道の教育に関するPTAアンケート調査表

◆ あなたが所属する単位PTAの所在する管内及び市町村名を記入するとともに、学校規模を選び、○を付してください。

※ 学級数については、特別支援学級を除いた数字としてください。

※ 小中併置校、義務教育学校及び複数校で同一単位PTAの場合等については、お手数ですが、学校種別(義務教育学校は前期課程・後期課程)ごとにご回答ください。

管内名			
市町村名			
学校規模	小学校 (義務教育学校の前期課程)	全学年の合計が5学級以下	
		全学年の合計が6～11学級	
		全学年の合計が12～18学級	
		全学年の合計が19学級以上	
	中学校 (義務教育学校の後期課程)	全学年の合計が2学級以下	
		全学年の合計が3～8学級	
		全学年の合計が9～12学級	
		全学年の合計が13学級以上	

◆ 以下の質問について、該当するものを一つ選び○を付してください。  
問4については該当すると思われるものすべてに○を付してください。  
※ 「あなたの学校」とは、学校の活動や学校の先生たちの活動の双方を含みます。

問1 あなたの学校は、読み書き計算をはじめとする基礎学力を身に付けさせていると思いますか

そう思う	
おおむねそう思う	
どちらとも言えない	
あまりそう思わない	
思わない	
わからない	

問2 あなたの学校は、全ての子どもたちに基礎学力を身に付けさせるため、放課後や夏休み・冬休み期間に補充指導を十分行っていると思いますか

そう思う	
おおむねそう思う	
どちらとも言えない	
あまりそう思わない	
思わない	
わからない	

問3 あなたの学校は、平日や週末に、宿題を出したり、宿題の点検をしたりする取組を、学校全体で行っていると思いますか

そう思う	
おおむねそう思う	
どちらとも言えない	
あまりそう思わない	
思わない	
わからない	

問4 学力向上のために、学校に取り組んでほしいことを、選んでください(複数回答可)

ア	習熟度別少人数指導	
イ	平日の宿題	
ウ	土日の宿題	
エ	放課後の補足的な学習サポート	
オ	長期休業期間の補足的な学習サポート	
カ	その他( )	
キ	取り組まなくてもよい	

その他を選択した場合は、その内容を記入願います。

--

問5 あなたの学校では、学校全体として、学習規律・生活規律がしっかりと指導されていると思いますか

そう思う	
おおむねそう思う	
どちらとも言えない	
あまりそう思わない	
思わない	
わからない	

問6 あなたの学校は、全国学力・学習状況調査の結果を、保護者にわかりやすく説明していると思いますか

そう思う	
おおむねそう思う	
どちらとも言えない	
あまりそう思わない	
思わない	
わからない	

問7 あなたの学校は、児童生徒の悩みや問題に適切に対応していると思いますか

そう思う	
おおむねそう思う	
どちらとも言えない	
あまりそう思わない	
思わない	
わからない	

問8 あなたの学校は、いじめが発生した場合の対応方針などを保護者にわかりやすく説明していると思いますか

そう思う	
おおむねそう思う	
どちらとも言えない	
あまりそう思わない	
思わない	
わからない	

問9 あなたの学校は、いじめ問題について、ホームページ(HP)や学校通信等により、保護者にわかりやすく情報提供していると思いますか

そう思う	
おおむねそう思う	
どちらとも言えない	
あまりそう思わない	
思わない	
わからない	

問10 あなたの学校は、子どもが使う携帯電話等のフィルタリングを設定するよう、保護者に説明したり資料を配付したりしていますか

そう思う	
おおむねそう思う	
どちらとも言えない	
あまりそう思わない	
思わない	
わからない	

問11 あなたの学校は、地域の人材や教材を生かした教育活動を積極的に行っていると思いますか

そう思う	
おおむねそう思う	
どちらとも言えない	
あまりそう思わない	
思わない	
わからない	

問12 あなたの学校では、保護者の意見等を参考に学校評価を行い、積極的に学校改善を進めていると思いますか

そう思う	
おおむねそう思う	
どちらとも言えない	
あまりそう思わない	
思わない	
わからない	

問13 あなたの学校では、ホームページ(HP)や学校通信等により日常の学校運営の状況が、わかりやすく保護者や地域へ提供されていると思いますか

そう思う	
おおむねそう思う	
どちらとも言えない	
あまりそう思わない	
思わない	
わからない	

問14 あなたの学校は、地域活動に積極的に参加し、地域社会との連携を深めようとしていると思いますか

そう思う	
おおむねそう思う	
どちらとも言えない	
あまりそう思わない	
思わない	
わからない	

問15 あなたの学校では、保護者や地域の方々が、学校運営に積極的に参加したり協力していると思いますか

そう思う	
おおむねそう思う	
どちらとも言えない	
あまりそう思わない	
思わない	
わからない	

【自由記述欄】

- ◆ 学校や教育委員会へのご意見・ご要望があれば記入願います。
- ※ 上記問1～15に関連するご意見・ご要望については、次の欄に記載願います。
- 例)○○という理由から○○を充実させてほしい(問1)、○○のような取組があれば良い(問4)

------------------------------------------